



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

5

No.645



まちひと百景

森利男町長初登庁!4期目へ!

4月26日(日)に行われた苫前町長・苫前町議会議員選挙において4選を決めた森利男町長が同月28日(火)に役場庁舎へ初登庁した。

女性職員から花束を受け取り、職員の拍手に迎えられ登庁した後の訓示では、「本町の産業である農業・漁業を中心に、商工業も含めしっかりした体制の確立を図り、この地域一帯の底上げをしていきたい。住みよい素晴らしい苫前町をつくっていきたい」と述べた。

- 選挙特集「町長・町議会議員選挙」…2～3
- 神社史料が町指定文化財へ…4
- 日ハム苫前後援会観戦チケット贈呈ほか…5
- ようこそ苫前町へ…6～7
- 苫前町財政事情説明書…8～9
- 国民年金ほか…10
- 学びの広場…11
- 健康ばんざい…12
- 介護保険ガイド…13
- 住まいる情報…14～15
- 入学ギャラリー…16

まちの人口

人口/3,362人(男/1,592人:女/1,770人)
世帯数/1,614世帯 (4月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

2015統一地方選挙終わる

苦前町長選挙は四選果たす

苦前町議会議員選挙は現職三人、新人五人が当選

本町初の女性議員誕生！

4月12日(日)の北海道知事・北海道議会議員選挙及び同日26日(日)の市町村長・市町村議会議員選挙(札幌市除く)を行う統一地方選挙が執行された。

12日(日)の北海道知事選挙では、フリーキャスターの佐藤のりゆき氏を抑え、現職の高橋はるみ氏が道政史上初の4選を果たした。

また、北海道議会議員選挙(留萌地域選出)では、留萌管内2議席から1議席となつて初めての選挙と

なつたが、新人の浅野貴博氏が現職の石塚正寛氏を破り初当選を果たした。

一方、4月26日(日)には町民にとって身近で将来を占う選挙となる

苦前町長・苦前町議会議員選挙が執行され、苦前町長選挙の投票率は平成15年に実施されたときの95・31パーセントを約4ポイント下回る

91・40パーセント、苦前町議会議員選挙の投票率は前回平成23年に実施されたときの87・40パーセントを

4ポイント上回る91・40パーセントとなった。

苦前町長選挙では、現職の森利

男氏と前苦前町議会議員の西大志氏の一騎打ちとなり、三九七票の差をつけ、森利男氏が4選を果たした。

また、苦前町議会議員選挙の届出は現職4名、新人6名の計10名となり、議員定数8議席を争う選挙戦となった。

5日間にわたる選挙運動を実施

し激戦の結果、現職1名、新人1名が涙をのんだ。

今回の苦前町議会議員選挙では伊藤まち子氏が当選を果たし、本町初となる女性議員が誕生した。

また、福士敦朗氏が四七一票を得てトップ当選を果たした。

選挙結果と投票率(26日執行分)は別掲のとおり。

4月12日(日)

北海道知事・北海道議会議員選挙

北海道知事	苦前町分の()内数
高橋はるみ 当	1,496,915票 (1,484票)
佐藤のりゆき	1,146,573票 (781票)

北海道議会議員	苦前町分の()内数
浅野 貴博 当	16,522票 (1,114票)
石塚 正寛	13,743票 (1,133票)

4月26日(日)

苦前町長・苦前町議会議員選挙

苦前町長	
森 利男 当	1,483票
西 大志	1,086票

苦前町議会議員	
福士 敦朗① 当	471票
磯崎 功① 当	333票
伊藤 まち子① 当	329.025票
伊藤 通康① 当	312.975票
阿部 俊一⑤ 当	279票
村本 隆① 当	234票
間宮 英明⑦ 当	199票
田沢 收③ 当	171票
千葉 勇一	125票
菊池 浩	114票

※丸数字は当選回数

森利男町長が初登庁

4月28日(火)森利男町長が初登庁した。女性職員から花束が手渡された後、庁舎前に並んだ約50名の職員らの大きな拍手で迎えられた。

引き続き行われた職員への訓示では「今回の選挙では住民の意識が高く、将来に向かって本町をどのようにしてほしいかの願いを込めながら投票いただいたと思っており、改めて住民が参画できる行政の体制が必要と感じた。1次産業である農業・漁業もたいぶ確立してきており、所得も増えてきている。商工業も含め体制を確立し、住民の命、生活を守るため、この4年間でしっかり成果を出していきたい。また、国や道とのパイプをより強固にし、特に送電網の關係は苫前町を先頭に、留萌管内、宗谷管内を含め、道北圏の位置づけをしっかりとしていきたい。町職員、消防職員の仕事を住民が注視していることを意識しながら働いてほしい」と述べ、4期目森町政のスタートに向け意欲を述べた。



森 利男 町長
72歳 無現

当選証書付与式

選挙管理委員会は、選挙翌日の27日(月)に「当選証書付与式」を行い、小野善市委員長から森町長と町議会議員8名に当選証書が手渡された。

小野委員長は「明るくきれいな選挙にご配慮、ご協力をいただき感謝申し上げます。皆様は多くの町民の信頼や期待を受け、ご当選の栄に浴された。今後、本町発展のために「活躍を」と挨拶を述べた。

森町長の挨拶の後に、町議会議員を代表して間宮英明氏が「投票率が管内で一番高く、本町の町政、我々議会へ熱い視線があることを選挙を通して感じた。全身全霊を傾け、町民の幸せのためにつくしていきたい」と述べた。



②磯崎 功 議員
66歳 無新



①伊藤通康 議員
64歳 無新



④村本 隆 議員
62歳 無新



③阿部俊一 議員
62歳 無現



⑥田沢 收 議員
58歳 無現



⑤間宮英明 議員
68歳 無現



⑧伊藤まち子 議員
51歳 無新



⑦福士敦朗 議員
60歳 無新

平成27年4月26日執行 苫前町長・苫前町議会議員選挙 投票区別投票率

投票区	選挙当日の有権者数(a)	投票者数(b)	投票率(b)/(a)×100
第1投票区 (苫前・栄浜・豊浦・興津・昭和)	1,008人	887人	88.00%
第2投票区 (古丹別)	1,021人	955人	93.54%
第3投票区 (力昼)	134人	127人	94.78%
第4投票区 (上平)	44人	39人	88.64%
第5投票区 (長島・香川)	138人	134人	97.10%
第6投票区 (九重)	165人	157人	95.15%
第7投票区 (三溪)	32人	30人	93.75%
第8投票区 (岩見)	66人	62人	93.94%
第9投票区 (東川)	28人	26人	92.86%
第10投票区 (小川)	40人	39人	97.50%
第11投票区 (港・三豊)	151人	128人	84.77%
計	2,827人	2,584人	91.40%
平成15年 町長選挙	3,580人	3,412人	95.31%
平成23年 議員選挙	3,001人	2,623人	87.40%

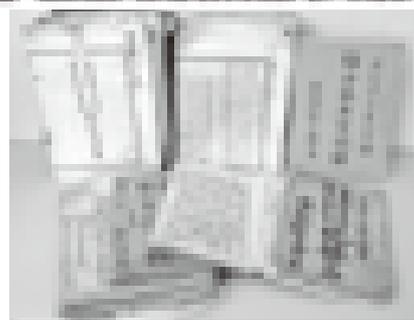
※現=現職、新=新人、無=無所属
なお、写真の番号は届出順。

琴平宮・琴平神社(金刀比羅神社)関係史料を町有形文化財へ指定 新苦前町史資料収集時に発見!

「教育委員会社会教育課でも「保管、活用方法も検討したい」と述べた。

香川の金刀比羅(琴平)神社(鴨田國一総代)に保管していた史料が、開拓初期の実態を記した大変貴重な史料であることがわかり、この度町有形文化財として指定された。町の有形文化財としては、修羅・須恵器に次ぎ3つ目。

これらの史料は新苦前町史作成のために同神社を訪れた際に発見されたもので、庄内藩陣屋の築造や藤田万助氏に始まる古丹別原野開拓、香川県人の移住と開拓などの史料のほか、金刀比羅神社祭典で実施されていた余興競馬の関係史料もあるなど大変珍しく第一級の史料が多く含まれているため、保存していく必要性から今回の指定となった。



町消防団の瀬川信昭団長が永年勤続表彰を受賞



消防団員として30年以上上勤続した団員に贈られる消防庁長官永年勤続功労章表彰で本町消防団の瀬川信昭団長の受章が決まり、3月19日(木)町長室で伝達式が行われた。

瀬川団長は昭和56年に団員になり、平成14年には副団長、平成22年からは団長として活動し、これまでは火災への出動はもちろん、大雨、山火事や行方不明者への捜索などにも出動するなど多大な功績を残している。

瀬川団長は受章に際し「今回の受賞を先輩方や町民の皆さんへ感謝したい。あと何年務めることができるかわからないが、これを糧に苦前町民の命と財産を守るため、精進していきたい」と述べた。

後輩のために野球指導 ～本町出身の太田俊哉さん～

太田さんは後輩達の練習を見て「自分が中学生の恩師から『いい選手になったから、いい中学生になれ』と言われ、高校や大学でも実践した。みんなその気持ち忘れずに」とアドバイスした。

太田さんは、札幌六大学野球秋季リーグ戦では優秀選手に選ばれるなど活躍、この春から航空自衛隊千歳へ進むことが決まり、里帰りを機に地元へ恩返しとして1日コーチが実現した。

古丹別出身で古丹別小・中学校を経て、旭川工業高等学校、東海大学北海道キャンパスへ進み、この春から航空自衛隊千歳へ就職することとなった太田俊哉さんが里帰りし、母校である古丹別中学校で後輩へ野球指導を行った。



「苦前町の子どもたちのため」を第一に決意新たに ～転入教職員へに辞令交付～



4月1日付けの人事異動により本町の学校勤務となった教職員への辞令交付式が4月3日(金)に行われた。

辞令が交付され、教職員を代表して古丹別小学校の高田未来養護教諭より宣誓が行われた後、教育委員会の岡田裕幹委員長が「本町の子どもたちをしっかり教える育ててほしい。先生達の力で勉強は楽しいこと、いろいろなことに興味を持たせることなどきっかけづくりに力を貸してほしい」と歓迎の言葉を述べた。

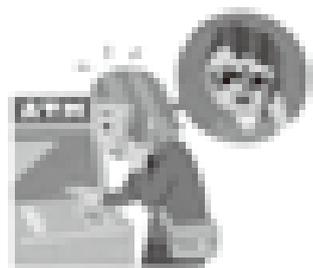
転入してきた教職員を代表し苦前小学校の堀井理校長が「苦前町は特色ある教育が行われているということで、子どもたちの育成のために尽力していきたい」と決意も新たに挨拶した。

緊急事態! 特殊詐欺が急増!

最近、息子を名乗り、会社の上司や弁護士、警察官などを装いお金の持参や送金を依頼する劇場型と呼ばれる詐欺が横行しています。

警察やテレビなどでも「特殊詐欺が増えている」と注意を呼びかけていますが、被害が止まりません。留萌管内でも同様の手口のほか、債権や老人ホームの入居権の購入、インターネットプロバイダ変更の勧誘などの電話が相次いでいます。

知らない人からの電話は警戒するとともに、例え相手が「孫」や「息子」と言ってきたとしてもその話をうのみにせず、一旦電話を切った後に今まで登録していた番号に再度確認するなど注意が必要です。私はそんな被害には遭わないと思っている人が一番アブナイと言われます。くれぐれもご注意下さい。



苦前町・羽幌警察署

日ハム苫前後援会が観戦チケットを贈呈 ～苫前町退職者年金協会へ～



北海道日本ハムファイターズ苫前後援会(平田日出男代表)の活動の一環として、7月20日(月)に札幌ドームで行われる東北楽天ゴールデンイーグルスとのデーゲームの観戦チケット30枚が苫前町退職者年金協会へ贈呈された。

観戦チケットは、後援会員の増員など後援会活動を支援するため、北海道日本ハムファイターズから提供されたもので、このチケット贈呈は、同後援会として初めて行われた。

4月15日(水)に公民館で行われた贈呈式では平田会長から「観戦を楽しんでいたが、後援会にも加入すると協会長へチケットが手渡されると、協会長からも「当協会の親睦事業としてありがたく頂戴する。後援会への加入もPRしたい」とお礼を述べた。

厳しい農業情勢の中、ピンチをチャンスに ～苫前町農業協同組合第67回通常総会～



4月16日(木)に公民館で第67回苫前町農業協同組合総会が開催された。

松原幸博代表理事組合長は「昨年は大雨により甚大な被害が発生、畑作では減収となり影響を受けたものの、米、酪農で前年度を超える販売実績を収め、売上も二五億六、七一〇万円となった。平成27年度は農協事務所の新築、米麦カントリーエレベーターの建設などの新規事業のほか、売上目標を総額二四億四、五〇〇万円とし、厳しい状況の中でピンチをチャンスに変えていきたい」と挨拶した。

総会では議案10件、報告2件、協力2件を全会一致で承認、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)から北海道を守る決議、農協改革に関する決議が、乳牛改良同志会と農協青年部から発表、承認された。

5月の田植えに向け、粃まきを体験 ～苫前小・古丹別小5年生が体験～



4月21日(火)に苫前小学校(堀井理校長)と古丹別小学校(笹森文夫校長)で5月に予定されている学社融合事業「田植え体験」で植える苗作りのためのポットへの種粃まきが行われ、両校の5年生34名が体験した。

岩見の花井秀昭さんが講師を務め、花井さんは「ポットの1つの穴に2〜3粒の種粃を入れて下さい。多すぎるとモヤシのような元気のない苗ができるので注意してほしい」と説明後、児童らは作業を行った。

児童らは気温の上がない中、屈んだままの作業に「腰がいたい」「寒い」と言いながらもしっかりと作業をこなしていた。

ヒグマ出没の目撃情報増えています!



苫前町内でヒグマの目撃情報が増えており、農林水産課では注意を呼びかけている。

3月、4月では九重地区でヒグマの足跡が見つかったとの連絡があり、4月19日(日)には長島八線沢付近で山から谷へ降りていくヒグマが目撃されていることから、農林水産課では、翌20日(月)に注意を呼びかけるための看板を設置した。

担当者は「この時期は山菜採りなどで山に入る機会も増えるが、ヒグマも活発に活動する時期を迎えるため、山に入るときはクマよけの鈴を身に付けるなど、ヒグマと出会わないような工夫をしてほしい」と呼びかけている。

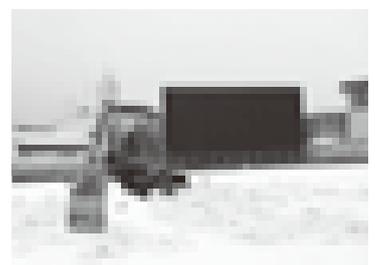
地域社会貢献事業

～まちの施設を整備していただきました～

苫前町野球場の雪割り作業 ～橋場産業株式会社～

橋場産業株式会社(奥山和彦代表取締役社長)が4月28日(木)に町野球場の雪割り作業を地域社会貢献事業で実施した。

4月に入り気温の低い日が続いていることもあり同施設の雪どけが進まない状況で、5月1日からのオープンに間に合うか心配していましたが、重機による雪割りを実施していただいたお陰で融雪も早くなり、5月1日からの使用を待ちわびている愛好者の皆さんも安心して使うことができそうです。ありがとうございました



ようこそ苦前町へ

この春の人事異動により、本町へ新しく着任された教職員、警察職員、役場職員などの職員を紹介します。今後ともよろしくお願ひいたします。

苦前小学校



坂上 彩
養護教諭
期限付

<抱負>

子ども達が笑顔で毎日健康に過ごせるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



長尾 聡美
教諭
前任校
留萌市立留萌小学校

<抱負>

エゾエンゴサクが町名の語源であるという苦前町は、お花好きの私にとって魅力的です。苦前小学校教員として子ども達との生活が楽しみです！



堀井 理
校長
前任校
増毛町立別刈小学校

<抱負>

校長2校目の52歳です。苦前町は初めての勤務になりますので、まずは苦前町のことをよく知りたいと思っています。頑張ります！

古丹別小学校



紀室 哲
教諭
期限付

<抱負>

前任校は北広島市でした。地域行事には積極的に参加したいと思っています。見かけた際はどうぞ気軽にお声をかけて下さい。



渡辺 真理子
教諭
前任校
留萌市立東光小学校

<抱負>

7年ぶりに苦前に戻ってきました。留萌市立東光小学校で学んだことを活かし、お世話になった苦前に恩返しできるように頑張ります。



塚田 崇
教頭
前任校
羽幌町立天売小学校

<抱負>

母校での勤務とてもうれしく思います。微力ですが苦前町の子どもたちのためにがんばりますので、よろしくお願ひいたします。



高田 未来
養護教諭
前任校
増毛町立別刈小学校

<抱負>

経験は浅い未熟者ですが、子どもたちの元気と笑顔のために精一杯頑張ります。子どもたちと一緒に成長していきたいです。よろしくお願ひします。



内潟 琢志
教諭
期限付

<抱負>

静内の桜丘小学校からきました。苦前町の子どもたちが楽しく充実した生活を送れるよう手助けをできればと思います。よろしくお願ひします。

苦前中学校



小澤 洋一
校長
前任校
遠別町立遠別中学校

<抱負>

子どもたちが将来に向かって夢と希望を抱き、「苦前中学校で学んで良かった」と思える、地域に根ざした学校づくりを進めていきたいと考えます。

古丹別中学校



小野寺 泰憲
教諭
前任校
小平町立鬼鹿中学校

<抱負>

転入の際、町内の方々と接したときに、とてもあたたかな地域だなと感じました。あたたかな地域で育ってきた子どもたちとともに、学んでいきたいと思っています。



山本 真貴子
教諭
前任校
留萌市立留萌中学校

<抱負>

この度、留萌市立留萌中学校から異動になりました。微力ではありますが、苦前の子どものために頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



木藤 健史
教頭
前任校
小平町立鬼鹿中学校

<抱負>

3年ぶりに苦前町へ戻って参りました。また、新たな気持ちで苦前の子どものために頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。